



with 元気くん



令和3年
1月7日
桑野小学校
第10号
(文責) 吉本 憲司

【明けましておめでとうございます。】

新型コロナウイルスの世界中での感染のため異例となった2020年が終わり、新しい年になりました。なとお祝い申し上げます。「明けましておめでとうございます。」

しかし、新型コロナウイルスの終息にはまだまだ時がかかるとも思われます。学校では、3密の回避・マスクの着用・手指消毒・換気・教室の消毒等を継続して行い感染防止に努めたいと考えています。インフルエンザも流行する可能性があります。ご家庭においでも子どもたちの健康のため、これらについて引き続きご協力をお願いします。



【理科の実験もマスク着用】

【タブレット学習】



3年生以上は一人一台のタブレットを授業で使っています。タブレット学習のメリットは、どこでも使えることです。友達と協力して問題を解いたり、先生に質問をしたりすることができます。子どもたちは「タブレット学習が楽しい」と答えています。この楽しさは主体的な学習につながると考えています。また、課題ができた子は「ジャストスマイルドリル」を使って自分の力に応じた問題を解いています。個々の学習の力に応じた学びも実現できそうです。

【タブレットを使って話し合い】

【命と心の授業】

神山町にある徳島県動物愛護センター。犬猫の保護活動を行っています。12月16日に朗読劇「あらしのよるに」を全校で鑑賞しました。午前中半日かけて舞台準備を行い、5時間目が鑑賞でした。オープニングはあらしの夜の場面から始まり、子どもたちはドキドキのようでした。役者さんの朗読がすばらしく、表情もたっぷり引き込まれました。コロナ禍で演劇やコンサートに出かける機会が減少してしまいました。このような文化に触れることは子どもたちの成長にとってとても大切なことなので、今後も文化的な行事を行いたいと考えています。



【子犬とのふれあい】

【朗読劇「あらしのよるに」】

12月16日に朗読劇「あらしのよるに」を全校で鑑賞しました。午前中半日かけて舞台準備を行い、5時間目が鑑賞でした。オープニングはあらしの夜の場面から始まり、子どもたちはドキドキのようでした。役者さんの朗読がすばらしく、表情もたっぷり引き込まれました。コロナ禍で演劇やコンサートに出かける機会が減少してしまいました。このような文化に触れることは子どもたちの成長にとってとても大切なことなので、今後も文化的な行事を行いたいと考えています。